

## 1 施策体系

上下水道ビジョンは、上下水道事業の根幹的な考え方である「基本理念」、今後30年から50年程度先の将来を見据えた「目指す将来像」、目指す将来像を実現するための「12年間の方向性」で構成しています。

**基本理念** 暮らしを支え、環境を守り、未来へつなぐ

30年～50年程度先を見据えた「目指す将来像」

### 将来像 1

市民の安心な暮らしを守るため、安全で安定した水の供給と適切な排水機能の確保を目指します

安全・安心

12年間の方向性

- 方向性 1 安全で良質な水の安定供給
- 方向性 2 上下水道施設の適切な管理と更新

### 将来像 2

災害に対して強くしなやかな上下水道を目指します

強 靱

12年間の方向性

- 方向性 3 災害への備え

### 将来像 3

環境に配慮した事業を目指します

環 境

12年間の方向性

- 方向性 4 水環境や地球環境への配慮
- 方向性 5 国際事業の推進

### 将来像 4

質の高いサービスの提供と持続可能な経営基盤の確保を目指します

持 続

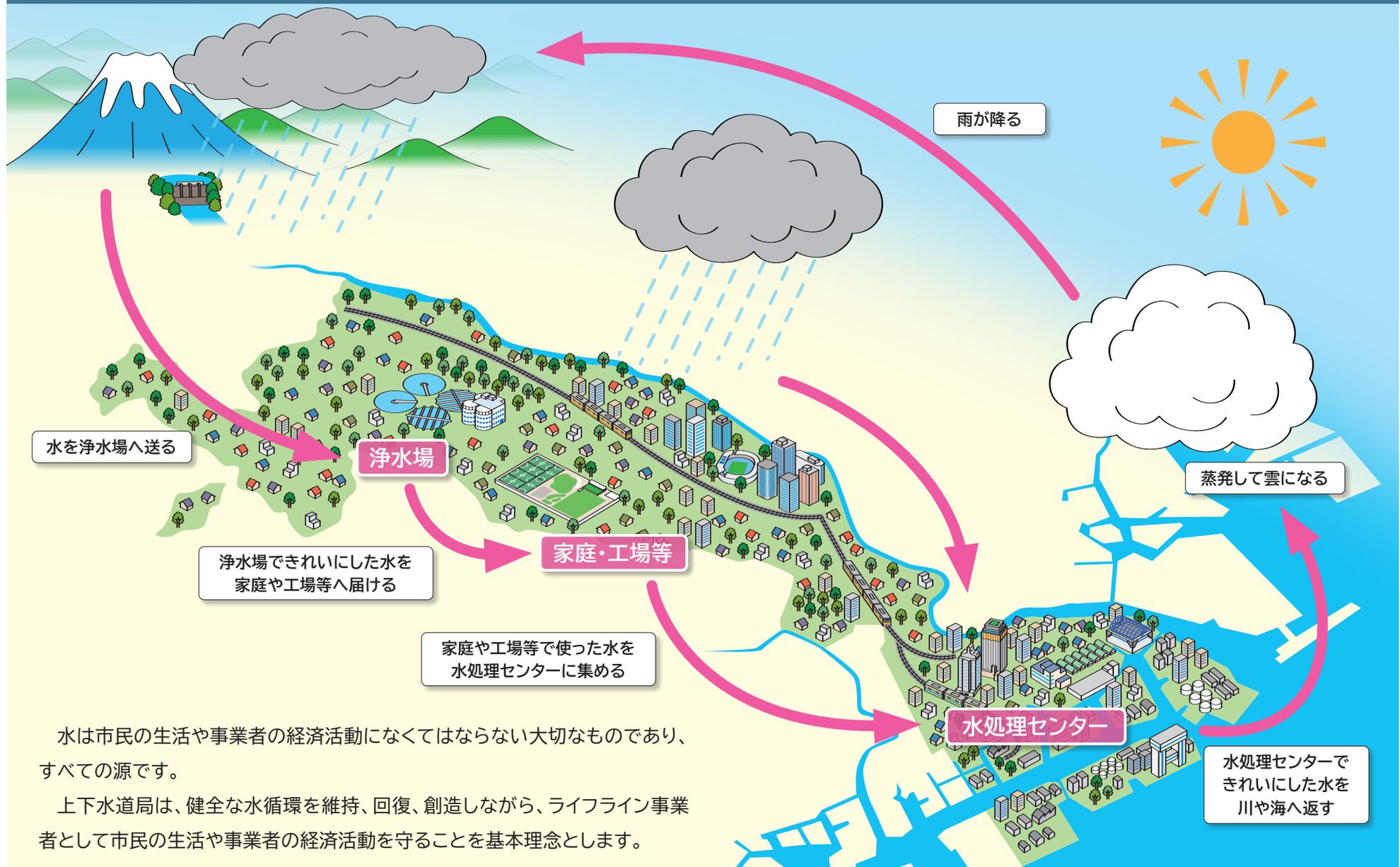
12年間の方向性

- 方向性 6 市民サービスの充実
- 方向性 7 持続可能な経営基盤の確保

中期計画の施策・取組へ

## 2 基本理念

# くらしを支え、環境を守り、未来へつなぐ



### 3 目指す将来像

基本理念のもと、今後30年から50年程度先を見据えた上下水道事業の目指す将来像を、4つのキーワード「安全・安心」、「強靱」、「環境」、「持続」とともに設定しました。また、それぞれの将来像について具体的にどのような状態になっているかを示しました。

#### 将来像 1

#### 安全・安心

市民の安心な暮らしを守るため、安全で安定した水の供給と適切な排水機能の確保を目指します

- 安全な水道水と適正な工業用水を安定的に利用できています。
- 適正に下水をきれいにすることで、安全に安心してらせています。
- 適切な維持管理と効率的な更新により、上下水道施設が正常に使える状態に保たれています。
- 上下水道施設の機能維持により、水が漏れたりあふれたりすることを防いでいます。

#### 将来像 2

#### 強靱

災害に対して強くしなやかな上下水道を目指します

※「強くしなやか」とは災害などにより致命的な被害を負わない強さと、速やかに回復できる力

- 災害が起きても、水を安心して使うことができます。
- 大雨による被害を最小限に抑え、雨に負けないまちになっています。
- 災害時でも、下水を流す・きれいにする機能を確保し、安心して下水道を利用できています。
- 災害時でも、市民や関係機関と連携し、迅速な災害対応が行えます。

#### 将来像 3

#### 環境

環境に配慮した事業を目指します

- きれいな水が川や海に戻され、親しみのある水辺や豊かな海が守られています。
- カーボンニュートラルの実現に貢献し、快適な暮らしが守られています。
- 循環型のまちづくりが進められ、地球にやさしい環境になっています。
- 官民連携による国際展開や技術協力による国際貢献を実施し、世界の水環境改善に貢献しています。

#### 将来像 4

#### 持続

質の高いサービスの提供と持続可能な経営基盤の確保を目指します

- お客さまとの信頼関係が構築され、上下水道事業の取組に対して高い関心と理解が得られています。
- 誰でも快適に上下水道サービスを利用することができます。
- 人口減少に対応した公平で適正な料金の徴収や資産の有効活用などによる安定的な収入により、健全な財政運営がなされています。
- 時代の変化に応じた、「人材、財産、情報」の効果的な活用により、安定した事業運営がされています。

## 4 12年間の方向性

事業を取り巻く環境と課題を踏まえ、目指す将来像を達成するために、今後12年間で各事業が向かうべき7つの方向性を決めました。また、それぞれの方向性が目指す将来像のどの内容に合致するかを、「安全・安心」、「強靱」、「環境」、「持続」のキーワードで示しています。

### 方向性1

安全で良質な  
水の安定供給  
【安全・安心】

- 安全で良質な水道水と適正な工業用水を安定的に供給できるよう、水源の保全や水源から蛇口に至るまでの水質管理を継続し、お客さま所有の受水槽の適正管理や直結給水化を促進します。
- 水源を共にする県内水道事業者や企業団等と連携し、効率的な水運用を実施します。



### 方向性 2

上下水道施設の  
適切な管理と更新  
【安全・安心】

- 持続可能な上下水道サービスを安定して提供できるよう、アセットマネジメントにより、適切な維持管理や更新を行います。
- 上下水道施設の機能を持続させるため、DXの推進などにより、維持管理や更新の高度化・効率化を図ります。



### 方向性 3

災害への備え  
【強靱】

- 災害時でも機能を維持できるよう、上下水道施設の耐震化・耐水化や停電対策を進めます。
- 大雨や台風への備え、浸水リスクの高い地域における雨水を排水する施設の整備を進めるとともに、気候変動による影響を踏まえた対策などに取り組みます。
- 災害時に迅速な対応ができるよう、DXの推進や職員及び他都市を含めた定期的な訓練・研修を実施し、市民の皆様に対し災害への備えなどの情報を分かりやすく発信します。



## 方向性 4

水環境や  
地球環境への配慮  
【環境】

- 親しみのある水辺や豊かな海を守るため、下水の処理方法の工夫や適切な維持管理により、良好な放流水質の確保に取り組みます。
- カーボンニュートラル実現に向け、省エネルギー・創エネルギーなどの取組を推進します。
- 循環型のまちづくりの実現に向け、廃棄物の抑制・リサイクルや資源の有効利用を促進し、更なる有効活用に取り組みます。



## 方向性 5

国際事業の推進  
【環境】

- 世界の水環境の改善に貢献するため、官民連携による国際展開や技術協力による国際貢献を推進します。



## 方向性 6

市民サービスの  
充実  
【持続】

- お客さまが安心して上下水道を利用できるよう、お客さまの上下水道へのニーズを的確に把握するとともに、関心の高い情報を適切なメディア・機会を活用して発信することにより、事業への理解醸成を図り、信頼関係を築いていきます。
- お客さまが快適にサービスを利用できるよう、高い品質のサービス及び新たなサービスを提供します。



## 方向性 7

持続可能な  
経営基盤の確保  
【持続】

- 今後見込まれる人口減少による水需要の減少等に対応するため、料金制度等の見直しを行うとともに、資産の有効活用や資金運用等により安定的な財源確保に取り組みます。
- 将来の担い手不足への対応として、デジタル技術の活用等による事業運営の最適化や人材の育成・確保を図ります。





---

## 川崎市上下水道ビジョン(2026～2037)

令和8(2026)年3月

川崎市上下水道局経営戦略・危機管理室

TEL 044-200-3182 FAX 044-200-3982

e-mail:80keiki@city.kawasaki.jp

---